

第1部

民俗芸能交流会

国指定重要無形民俗文化財

水海の田楽・能舞 (福井県池田町)

池田町に約800年にわたり受け継がれてきた「水海の田楽・能舞」。鎌倉幕府第5代執権・北条時頼が雪で立ち往生した時、村人たちが「田楽」を舞い、お礼に時頼が「能舞」を教えたのが始まりとされています。毎年2月15日には古式に従って田楽四番と能舞五番を奉納しており、1つの祭礼において田楽と能舞(猿楽能)の両方を奉納するところが、この伝統行事の特徴です。



石川県指定無形民俗文化財

御陣乗太鼓 (石川県輪島市名舟町)

石川県輪島市名舟町に伝わる伝統芸能。1577年(天正5年)に上杉謙信の軍勢が名舟に攻め込んだ際に、村の知恵者といわれる古老の指図に従い、樹の皮で仮面を作り、海藻を頭髮とし、太鼓を打ち鳴らしながら寝静まる上杉勢に夜襲をかけました。上杉勢は思いもよらぬ陣太鼓と奇怪きわまる怪物の夜襲に驚愕し、戦わずして退散したと伝えられています。村人達は名舟沖にある舳倉島の奥津姫神の御神徳によるものとし、毎年奥津姫神社の大祭(名舟大祭・7月31日夜から8月1日)に仮面をつけて太鼓を打ち鳴らしながら神輿渡御の先駆をつとめ、氏神への感謝を捧げる習わしとなりました。



関連催事



関連催事の詳細は
こちらから

料金

5,000円/人
(約40分)

変身・能役者体験 [水海の田楽・能舞保存会]

能面や能装束の着装体験、所作体験、能舞台での記念撮影。

【日時】令和8年5月23日(土) 10:00~15:00

【会場】池田町能面美術館(池田町志津原 17-2)

【お問合せ】TEL: 0778-44-8060 (いけだ農村観光協会)

事前
予約可



第23回全国能面公募展

全国から応募された写し面、創作能面の中から入賞作品を展示。

【日時】令和8年3月28日(土)~5月31日(日) 10:00~16:00(土日祝は17:00まで)

【会場】池田町能面美術館(池田町志津原 17-2) 【休館日】火曜日 【お問合せ】TEL: 0778-44-7757

入場料
300円/人

薪能入場券
提示で
入場無料

マルシェ

池田の春の味覚や懐かしい味、スイーツの出店。薪能グッズの販売。



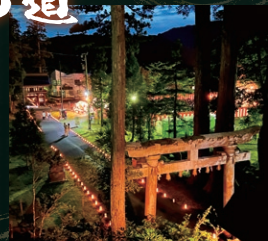
お茶席

池田抹茶教室



灯の道

神社参道をエコキャンドルが彩ります



第2部

皐月薪能

狂言(大蔵流)「寝音曲」

主人が酒宴の帰りに、たまたま太郎冠者の家の前を通りかかったところ、上手な謡を耳にします。翌日早速、自分の前で謡を謡うように命じます。太郎冠者は、今後たびたび謡わされては困ると考え、まず酒を飲まなければ謡えないと嘘をつきます。どうしても謡を聞きたい主人は酒を飲ませると次は、妻の膝枕でなければ声が出ないと言い出します…。

この演目は、主人と太郎冠者の駆け引きが見どころです。太郎冠者の態度には主人に対する反抗というより、ほほえましい主従関係がみられます。また、横になって謡を謡う様は、演者の技量が要され聞きどころにもなっています。



人間国宝 茂山 七五三
(しげやま しめ)

狂言方大蔵流能楽師

2020年

芸術選奨文部科学大臣賞受賞

2023年

重要無形文化財「狂言」各個指定保持者(人間国宝)認定



茂山 宗彦
(しげやま もとひこ)

狂言方大蔵流能楽師

二世茂山七五三の長男。祖父は四世茂山千作。父、祖父および曾祖父(三世茂山千作)に師事し、4歳のときに「以呂波」で初舞台。愛称は「もっぴー」。NHKテレビドラマに出演等、狂言以外の活動でも活躍。



能(金剛流)「車僧」

出家とは家を出ること。一つの場所に定住せず小さな車に乗り、屋は車輪のままにまかせて都を巡り、夜は車の中で眠っていた僧がおり、その僧を車僧と人々は呼びました。

雪の日、破れ車(椅子車と言う独特の作り物で表現)に乗った車僧(ワキ)が嵯峨野、嵐山に来てあたりの景色を眺めていると、一人の山伏(前シテ)が現れて僧にチョッカイを出してきます。軽くあしらわれた山伏は、愛宕山の太郎坊に住む恐ろしい者だと凄み、黒雲に乗って飛び去るまでが前半です。

後半は先の山伏が本来の大天狗(後シテ)の姿で現れ、車僧がどれ位の力を持っているか挑みます。平然としている車僧の「静」、自在な動きをする天狗の「動」の対比が面白い能です。また能では極めて珍しく笑いを誘う場面があるのも特色です。



人間国宝 金剛 永謹
(こんごう ひさのり)

シテ方金剛流二十六世宗家

2017年 芸術選奨文部科学大臣賞受賞

2018年 紫綬褒章受章

2023年 恩賜賞・日本芸術院賞受賞

重要無形文化財「能楽」各個指定保持者(人間国宝)認定
フランス芸術文化勲章オフィシエ受章



金剛 龍謹
(こんごう たつり)

シテ方金剛流若宗家

金剛流二十六世宗家 金剛永謹の長男。幼少より父、祖父(二世金剛藏)に師事し、5歳で仕舞「狸々」にて初舞台。全国・海外での数多くの公演に出演しながら、大学での講義や各地の小中学校での巡回公演など若い世代への普及にも努める。



おおべし

大癡見

「越前池田」能楽の里が選ぶ能面展
第22回全国能面公募展 写し面の部
最優秀賞作品

田中徳平さん(福岡県)作の「大癡見」が使用されます。



うそぶき

空吹

「越前池田」能楽の里が選ぶ能面展
第22回全国能面公募展 写し面の部
審査員特別賞作品

清水充子さん(京都府)作の「空吹」が使用されます。

